

報告 **えんとつフェスティバル2016**



「つなげよう資源の輪、広げよう地域の和」をテーマとした、組合にとっての一大イベント、「えんとつフェスティバル」が、地域の皆さんとの共催により、さる10月8日（土）に開催されました。当日は、変わりやすい空模様で、天候には恵まれませんでしたが、約1,000人の方が来場され、フリーマーケット、地場産野菜の直売、ごみ収集車展示、地域出演者による演奏、大道芸や模擬店などが行われ、楽しみながら清掃工場を知っていただく1日となりました。地域の方々や農業関係者、福祉団体、武蔵野美術大学の学生さん、地元企業など、多くの方に支えられ、無事に終了することができました。ありがとうございました。

●みなさんの清掃工場を見学してみませんか

衛生組合では3市から収集された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを処理していますが、その量は1日平均で、約192t（平成27年度）にもなります。毎日の生活の中で出されるごみがどのように処理されるのか、ごみの分別・減量がなぜ大切なのかなど、清掃工場を見学しながら学んでみませんか？  
○通常の見学コースの所要時間は90分程度です。  
○見学できる日は、月～水・金曜日です（ただし、祝日を除きます）。  
○見学には事前予約が必要です。詳しくは下記までお問い合わせください。  
【見学申込先】 総務課 ☎042-341-4345

■見学実績 (平成28年4月～平成29年1月)

	小平市		武蔵村山市		東大和市		その他		合計	
	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
小学生	905	13	389	4	522	7	0	0	1816	24
一般	237	19	76	7	43	3	30	3	386	32
合計	1142	32	465	11	565	10	30	3	2202	56

●平成28年度の情報公開の状況

情報公開制度は、すべての人に小平・村山・大和衛生組合が保有する文書等の情報の公開を求める権利を保障するものです。情報公開を希望される方は、総務課（4・5号ごみ焼却施設3階組合事務所）にて公開の請求手続きを行ってください。なお、平成28年度の公開状況は下の通りです。

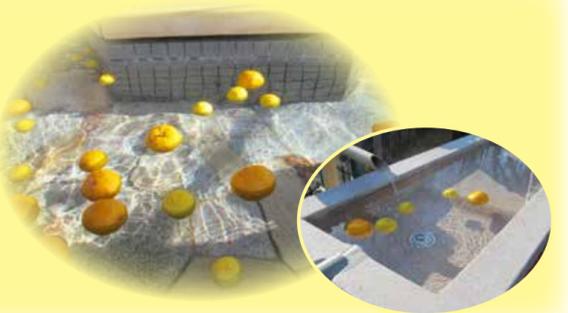
期間：平成28年4月1日～29年1月31日

請求件数	6件
公開	3件
一部公開	1件
撤回	1件
非公開	1件（うち不存在 1件）
公開率*	100%

\*公開率=(公開+一部公開)÷(請求件数-撤回-不存在)

足湯情報 **ゆず湯を実施しました**

昨年の12月21日、23日及び24日の3日間「ゆず湯」を実施し、ゆず湯を多くの皆様楽しんでいただくことができました。ゆず湯には、血行促進や冷え性の予防等に効果があるといわれており、地域の有志の方々の協力により、ゆず湯を実施することができました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



発行 小平・村山・大和衛生組合 平成29年3月発行  
〒187-0033東京都小平市中島町2番1号 TEL: 042-341-4345 FAX: 042-343-5374 HP <http://www.kmy-eiseikumiai.jp/>  
(小平・村山・大和衛生組合は、小平市、東大和市、武蔵村山市の3市の市民生活から出るごみを処理する清掃工場を管理運営する一部事務組合（特別地方公共団体）です。)

再生紙を使用しています。この紙はリサイクルできますので、再利用してください。

# えんとつ

## No. 42

小平・村山・大和衛生組合は、3市のごみを処理している清掃工場です。



- 《No.42主な内容》
- 3市共同資源化事業を進めています
  - 議会報告・各種測定結果について
  - 平成29年度一般会計予算及び平成27年度一般会計決算



# 小平市、東大和市、武蔵村山市及び小平・村山・大和衛生組合では、3市共同資源化事業を進めています

## 3市共同資源化事業の進捗状況についてお知らせします

小平市、東大和市及び武蔵村山市の3市（以下「3市」という。）では、資源化を行う施設について老朽化などの課題を抱えており、また、小平・村山・大和衛生組合（以下「組合」という。）のごみ処理施設においても老朽化及び旧式化が進んでおり、施設の整備、更新が喫緊の課題となっています。

3市と組合の4団体では、循環型社会に向けて、ソフト面の事業として、「3市の資源化基準の統一」を図ること、ハード面の事業では「(仮称)3市共同資源物処理施設の整備」と「粗大ごみ処理施設の更新」を一体として進めて行く3市共同資源化事業を進めています。今回は、3市共同資源化事業のハード面（施設整備及び施設更新）の進捗状況をお知らせします。

## 1 (仮称)3市共同資源物処理施設の整備について

本年1月23日に施設整備工事の契約を締結しました。本工事は、性能発注方式<sup>※</sup>であるため、現在、施設の仕様に基づき実施設計等を行っています。施設の整備に係る内容等については、以下のとおりです。

### (1) 施設概要について

施設は、3市から排出されるジャンパーの空ボトルやスナック菓子の袋などの他のプラスチック製容器包装（以下「容リプラ」という。）及びペットボトルを受け入れ、破袋（破除袋）後、手選別を行い、資源化不適物を除去し、リサイクル業者に引き渡せるよう圧縮梱包するものです。

また、施設には、リサイクルに関する啓発の拠点とすることを目的に、再生品や不用品の展示、ごみ・リサイクルに係る研修や情報発信ができる室・コーナーなどのプラザ機能を設ける計画です。なお、施設の概要等は、以下のとおりです。

### <施設の概要等>

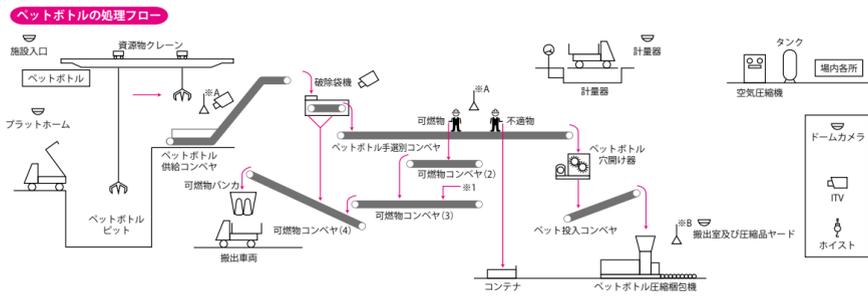
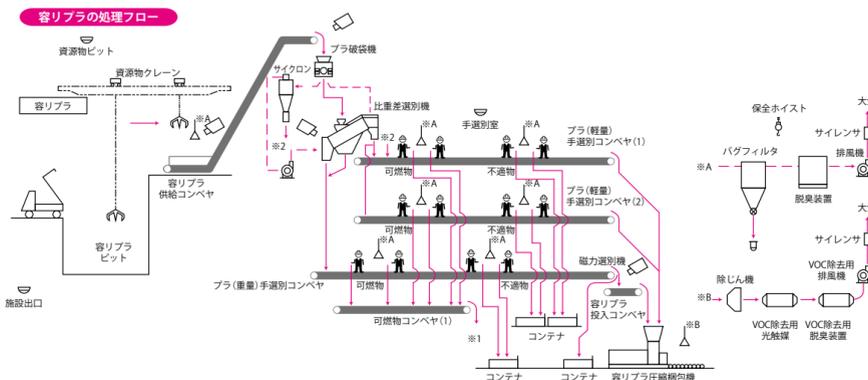
項目	内容
①建設場所	東京都東大和市桜が丘2丁目122番地の2（現東大和市暫定リサイクル施設用地）
②敷地面積	4,311.64㎡
③設置する施設の種類	マテリアルリサイクル（容器包装リサイクル推進施設）
④施設において処理する廃棄物	・容リプラ ・ペットボトル
⑤施設規模（処理能力）	23t/日（容リプラ:17t/日 ペットボトル:6t/日）
⑥施設の処理方式	選別・圧縮・梱包
⑦施設の稼働時間	午前8時30分から午後5時まで
⑧建物の概要	・鉄骨造（地上3階） ・建物最高高さ 22m以下 ・建築面積 約2,350㎡ ・延床面積 約3,740㎡（メーカー設計値）
⑨資源物搬出入車両	搬入車両 2t～4t車、64台/日程度 搬出車両 10tクラス大型トラック 1台から3台/日程度
⑩契約方法及び契約金額	指名競争入札 25億4,318万4,000円（消費税込み）
⑪契約の相手	メタウォーター株式会社営業本部東京営業部東京営業部長 古谷孝誠
⑫工事内容	基本・実施設計、建築工事、土木工事、プラント工事、電気工事、解体工事（現東大和市暫定リサイクル施設）他
⑬工期	平成29年1月24日から平成31年2月28日まで
⑭工事計画	工事に際しては、災害対策を万全に期すとともに、周辺住民への排ガス、騒音、振動、悪臭、汚水等の公害防止に十分配慮を行うものとします。

①～⑬に関しては工事に関する主なものです。  
<sup>※</sup>性能発注方式とは、廃棄物処理施設の整備工事では一般的な発注方式で、発注者が、満たすべき要件や性能水準を規定して、設計と施工を一括して発注する方式です。  
 性能発注方式には、プラントメーカーのノウハウを生かした創意工夫を發揮した提案を受けられる利点があります。

### (2) 施設の特徴

施設の特徴は、以下のとおりです。

- ①施設規模（処理能力）は、周辺環境に配慮し、5時間（昼間）運転を基本として設定しています。
- ②資源物の受入は、臭気対策として有効なピットアンドクレーン方式を採用しています。
- ③揮発性有機化合物（VOC）対策として、最高水準の技術を採用しています。



### (3) 主要設備

主要設備は、以下のとおりです。

- ①受入供給設備  
本設備は、行政回収車・各種搬入搬出車を入退場時に計量する設備、及び、容リプラ・ペットボトルを受け入れて各処理系列に供給する設備で、計量機、プラットホーム、投入扉、資源物貯留ピット及び資源物クレーンより構成されます。
- ②容リプラ処理系列  
本設備は、搬入された容リプラを、破袋後に比重の軽いフィルム系のプラスチックと重いプラスチックに分離し、磁力で除去可能な金属製の異物を取り除いた上で手選別する設備で、破袋機、比重差選別機、磁力選別機、手選別コンベア、圧縮梱包機及び各種ホッパー・コンベアより構成されます。
- ③ペットボトル処理系列  
本設備は、搬入されたペットボトルを、破除袋後に手選別する設備で、破除袋機、手選別コンベア、圧縮梱包機及び各種ホッパー・コンベアより構成されます。
- ④集じん・脱臭設備  
本設備は、粉じん、悪臭及び揮発性有機化合物（VOC）の拡散を防止するために必要な装置を設けるものであり、バグフィルタ、集じん装置、脱臭装置（VOC除去装置：光触媒＋活性炭）、排風機等より構成されます。

### (4) 公害防止基準

公害防止基準は、以下のとおりです。

#### ①騒音

区分	昼間	朝・夕		夜間
	8時～20時	朝：6時～8時	夕：20時～23時	23時～6時
要求水準値	55dB以下	55dB以下		50dB以下

#### ②振動

区分	昼間	夜間
	8時～20時	20時～8時
要求水準値	55dB以下	55dB以下

#### ③悪臭

区分	敷地境界	排水水
要求水準値	臭気指数10以下	臭気指数29以下

#### ④粉じん

資源物の受入や破袋、圧縮梱包等で粉じんが発生することも考えられるため、粉じんが発生しやすい場所については、集じん器を設置し、粉じんを除去した後に建屋外に排気します。

#### ⑤揮発性有機化合物（VOC）

- ア 総揮発性有機化合物（TVOC）  
TVOCの除去能力は、VOC除去設備において、除去率を80%以上又は除去設備出口において400µg/㎡（5時間平均値）以下とします。
- イ 揮発性有機化合物（VOC）  
大気汚染防止法で定義されているVOCの排出濃度は、VOC除去設備出口において400ppmC以下とします。

## 2 (仮称)不燃・粗大ごみ処理施設の更新について

現在、3市の家庭などから排出される不燃ごみ及び粗大ごみは、組合の粗大ごみ処理施設で破砕処理された後、鉄やアルミなどの資源を選別、資源化し、比較的軽い破砕可燃と重い破砕不燃に選別しています。このうち、破砕可燃は、埋立場延命化のため平成4年度から焼却しており、平成27年度は6,880トン/年を焼却しています。破砕不燃は、東京たま広域資源循環組合ニッ塚処分場（日の出町）に埋立処分しており、平成27年度は107トン/年を埋立しています。現在、老朽化・旧式化している組合の粗大ごみ処理施設の更新に向けた検討などを進めており、その状況は、以下のとおりです。

### (1) 破砕残さを全量焼却することにより、「埋立ゼロ」を目指します

組合では、以下のメリットがあることから、施設の更新を機に、これまでのような破砕不燃の埋立は行わず、「埋立ゼロ」を目指します。なお、新施設には手選別ラインを設け、有害物、危険物及び小型家電を選別し、焼却に不適な物を焼却することがないようにいたします。また、焼却開始は、環境対策を充実した新ごみ焼却施設の稼働（平成37年度予定）からといたします。

#### <埋立ゼロのメリット>

- ・処分場の延命化に寄与できること。
- ・焼却残さ（焼却灰）は、エコセメント<sup>※</sup>として資源化が図れること。
- ・破砕可燃と破砕不燃を選別する必要がなくなることから、新施設の機械設備がシンプルになり、建設費の縮減が期待できること。
- ※エコセメントとは、ごみの焼却残さ（焼却灰）などを主原料とした新しいセメントのことです。エコセメントを有効利用することによって、ごみの再資源化が図られます。

### (2) 生活環境影響調査現地調査を実施し、報告書を作成しています

施設の設置に当たり、計画の段階でその施設が周辺地域の生活環境に及ぼす影響をあらかじめ調査する、生活環境影響調査を実施していますが、本年6月を目途に報告書をまとめる予定です。報告書については、手続き（告示・縦覧）の中で、3市の住民の方から生活環境保全上の見地からの意見をお受けいたします。



## 小平・村山・大和衛生組合議会報告

なお、会議録につきましては、作成次第、衛生組合のホームページに掲載します。

平成28年11月定例会（11月22日開催）

議案番号	内容	議決結果
議案第14号	小平・村山・大和衛生組合監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第15号	平成27年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第16号	平成28年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算（第2号）	原案可決
陳情第1号	ごみ減量施策の早急な推進と焼却施設建て替えのための市民参加の検討委員会設置についての陳情	採択

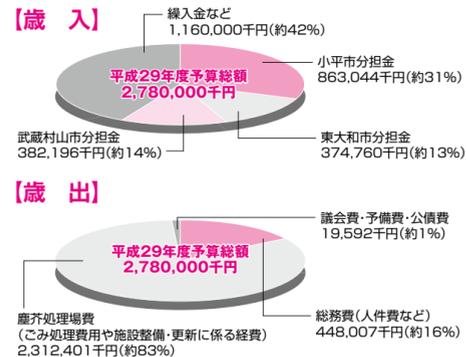
平成29年1月臨時会（1月20日開催）

議案番号	内容	議決結果
議案第1号	(仮称)3市共同資源物処理施設整備工事請負契約の締結について	原案可決

平成29年2月定例会（2月17日開催）

議案番号	内容	議決結果
議案第2号	小平・村山・大和衛生組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第3号	平成28年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第4号	平成29年度における小平・村山・大和衛生組合を組織する市の分担金額について	原案可決
議案第5号	平成29年度小平・村山・大和衛生組合一般会計予算	原案可決
陳情第2号	「新ごみ焼却施設の整備に係る懇談会の公募市民を各市2名以上とすること等」についての陳情	不採択

## 平成29年度一般会計予算（概要）



### (平成29年度の主な事業)

- 3号ごみ焼却施設燃焼設備補修工事
- 3号ごみ焼却施設バグフィルターボトムケーシング等補修工事
- 3号ごみ焼却施設躯体補修工事
- 3号ごみ焼却施設反応塔補修工事
- 4・5号ごみ焼却施設燃焼設備補修工事
- 4・5号ごみ焼却施設クレーン補修工事
- 4号炉ガス冷却室補修工事
- 粗大ごみ処理施設供給コンベア等補修工事
- 3市共同資源物処理施設設計・施工監理業務委託
- 3市共同資源物処理施設整備工事
- ごみ焼却施設整備基本計画策定業務委託

## 平成27年度一般会計決算（概要）

歳入	1,620,788,868円
決算額 歳出	1,568,810,516円
差引残額	51,978,352円

### (平成27年度の主な事業)

- 3号ごみ焼却施設燃焼設備補修工事
- 粗大ごみ処理施設破砕機等補修工事

## ダイオキシン類の測定結果

### 環境大気

組合では、立川市清掃工場と連携して、清掃工場周辺の大気中のダイオキシン類濃度の測定を、夏季と冬季の年2回実施しています。平成28年度夏季分は、平成28年8月18日から8月25日の間、連続で試料を採取しました。

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

測定地点	大気環境基準	測定結果	
		平成28年度(夏季分)	(参考)平成27年度(夏季分)
		0.6以下	0.0099
立川市清掃工場測定	0.6以下	0.012	0.013
		0.011	0.011
		0.011	0.015
		0.012	0.013
		0.012	0.013
		0.014	0.014

(注) 大気環境基準は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく、大気の汚染に係る環境基準です。

## 焼却灰等の放射性物質濃度及び空間放射線量の測定結果

### ■放射性物質濃度測定結果

(単位 主灰・飛灰：Bq/Kg、排ガス：Bq/m<sup>3</sup>)

採取日	主灰	飛灰	排ガス
平成28年 9月15日	29	113	不検出
平成28年10月14日	28	107	不検出
平成28年11月14日	15	112	不検出
平成28年12月15日	34	108	不検出
平成29年 1月13日	不検出	72	不検出
平成29年 2月15日	12	70	不検出

- ※1 主灰は、焼却炉の灰出設備から排出される灰
- ※2 飛灰は、焼却炉の集じん器（バグフィルター）で捕集された灰
- ※3 主灰・飛灰の数値は、「放射性セシウム134」「放射性セシウム137」の合計値（図が示す埋立処分を可能とする放射性物質の暫定基準値は8,000Bq/Kg以下）
- ※4 排ガスは、「放射性セシウム134」「放射性セシウム137」のいずれも不検出

### ■空間放射線量 測定結果（地上高さ1m、5回測定の前平均値）

(単位 μSv/h)

測定日	東	西	南	北	衛生組合栗樹林(バックランド)
平成28年 9月15日	0.069	0.066	0.059	0.047	0.035
平成28年10月14日	0.069	0.056	0.049	0.056	0.038
平成28年11月14日	0.062	0.064	0.058	0.055	0.042
平成28年12月15日	0.071	0.074	0.050	0.050	0.039
平成29年 1月13日	0.063	0.071	0.057	0.061	0.039
平成29年 2月15日	0.065	0.053	0.045	0.061	0.030